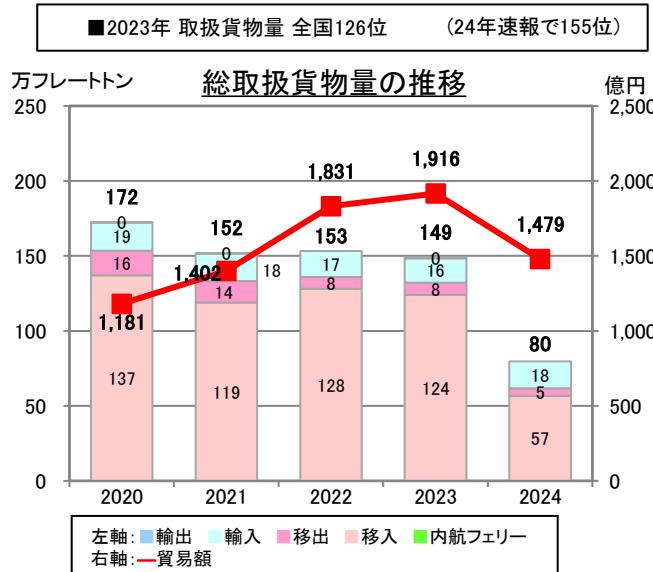


1. 津松阪港の概要

津松阪港は、伊勢湾西海岸の中央部に位置し、近年においては臨海部への企業立地が進み、中南勢地域の物流の拠点として、また、地域開発の拠点として重要な役割を果たしており、1971年3月に津、松阪両港を合併、同年4月に重要港湾に指定されている。

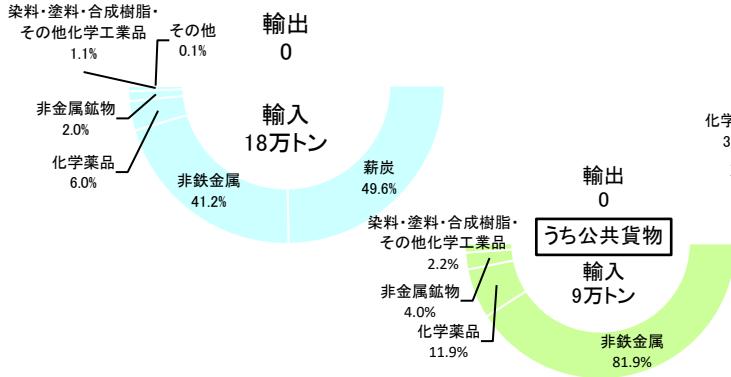
現在では、砂・砂利、セメント、金属類の内貿貨物を中心とする中南勢地域の流通拠点としての役割を果たしている。

2. 津松阪港の取扱貨物データ

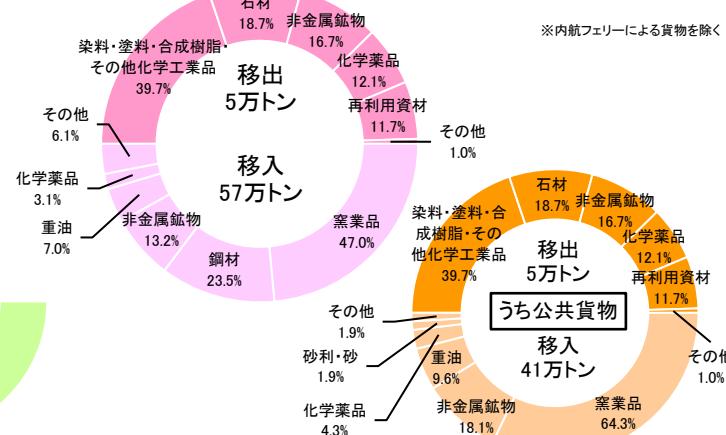


取扱貨物の品目内訳(2024年)

外貿



内貿



主な荷主(外貿)

樹脂類	JFEエンジニアリング(株)
非鉄金属	ヴァーレ・ジャパン(株)
非金属鉱物	セントラル硝子(株)
染料・塗料・合成樹脂・その他化学工業品	三井物産(株) 住友商事(株)

主な荷主(内貿)

セメント	UBE三菱セメント(株) 住友大阪セメント(株)
鋼材	ジャパンマリンユナイテッド(株) JFEエンジニアリング(株)
非金属鉱物	セントラル硝子プロダクツ(株)

出典: 国土交通省港湾局調べ

3. 津松阪港の主な定期航路(2025年5月1日現在)

内航フェリー航路	船社名	便数
津松阪～中部国際空港	津エアポートライン(株)	9便/日